高知大学 地域協働学部

松本 明

地域脱炭素フォーラム高松開催 (四国ブロック) パネルディスカッション① 『住民を巻き込んだ脱炭素施策』

【ファシリテータ】

■自己紹介

- 徳島県生まれ
- 環境政策・都市計画領域 コンサルタントを経て 2016年より現職(高知大学 地域協働学部)

★専門:サステナビリティ系政策・施策等

- □行政計画づくりの支援
- □サステナビリティ系コンセプトメイキング など

領域間の橋渡し



例:環境と経済



所属

高知大学 地域協働学部







地域、企業、大学が一緒に

人材を育てる

地域の懐に飛び込んで学ぶ

地域協働学部では、地域での実習に3年間で600時間を超える、他に類を見ない多くの時間を割いていま す。地域や企業の胸を借り、協働を実践しながら学ぶ中で学生は大きく成長し、同時にパートナーである地域 や企業にもさまざまな変化をもたらしています。



▶高知で学ぶ意義

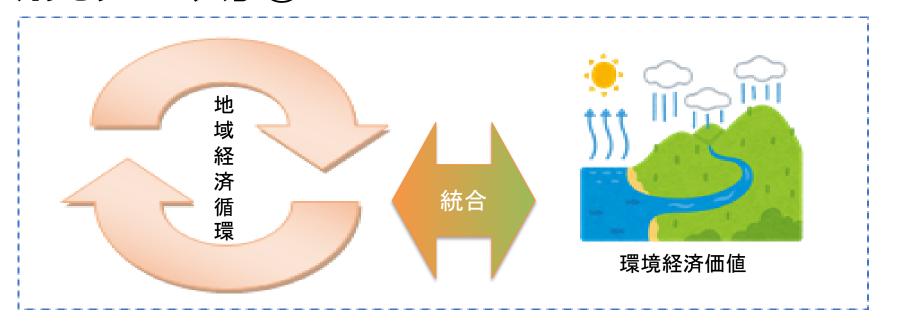
南には雄大な太平洋、北には急峻な四国山地が控える高知県。その豊かな自然と温暖な気候は、おおらかで独立心旺盛な県民性を育んだと言われています。一方で、全国に先駆けて少子高齢化が進み、日本の将来モデルとしてさまざまな社会課題、地域課題への取組が先行。近年は、住民力、企業力を活かした集落再生や新たな地場産品の開発など、産学官民が協働した試みも多く生まれています。





出所)高知大学地域協働学部 資料

研究テーマ等① 地域経済と自然資本をつなげる



地域産業連関表



自然資本 が生み出す 経済価値

脱炭素関連

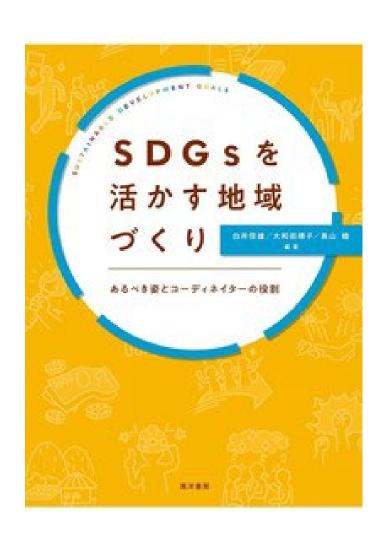
太陽光・風力・木質バイオマス etc...







研究テーマ等② 持続可能な地域づくりに おける人材育成・創出



※目次(執筆担当部分抜粋)

第6章 SDGs未来都市におけるコーディネイター

はじめに

- 1 SDGs未来都市の概要・選定事例
- 2 SDGs未来都市におけるコーディネイター
- 3 SDG s 未来都市におけるコーディネイター 体験記

おわりに

さらに調べよう・考えよう∅

